

ふるさと納税（ふるさと応援寄附金）事業の状況!!

今回12月議会では、予算決算常任委員会において、一般会計補正予算で約3億6,000万円を追加する審査が行われ、本会議審議で可決されました。その主なものが、**ふるさと応援寄附金事業で約2億9,800万円を増額**する予算であります。年度末まで3カ月を残す12月時点で、ふるさと応援寄附金事業は、今年度（令和元年）の当初予算で、歳入約1億400万円でしたが、約3億2,400万円に増額され、歳出も約1億4,500万円が、約4億4,600万円に増額されたのです。

この歳出約4億4,600万円の予算には、返礼品としての**特産物購入費9,600万円**や、ふるさと応援基金へ**積立金として約3億2,000万円**などが含まれているのです。

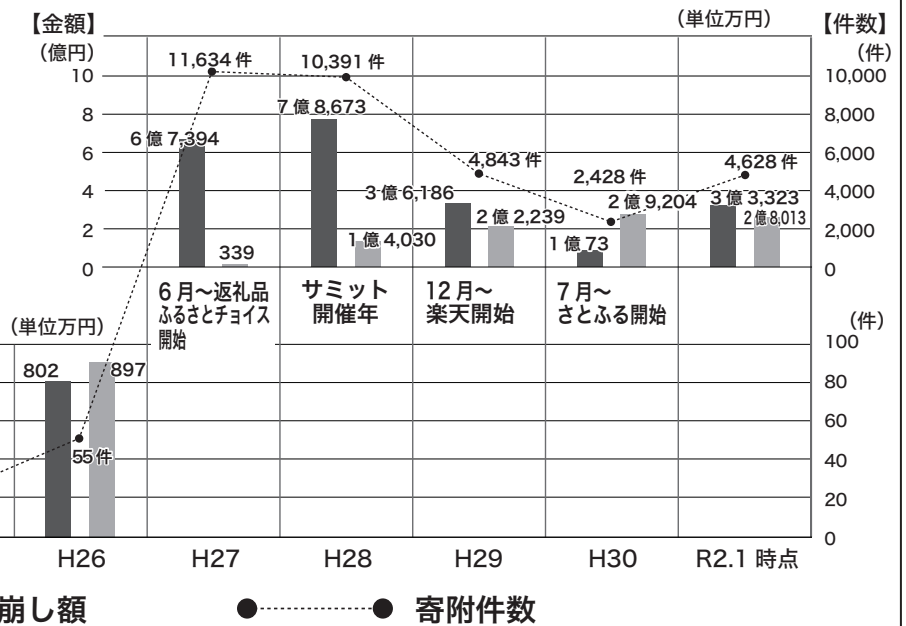
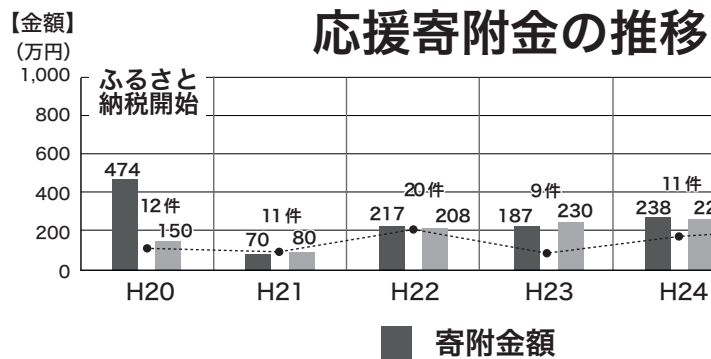
平成30年度のふるさと応援基金残高は、約12億4,500万円で、今年度も**約2億8,000万円を取崩す**予算であります。令和元年度末の**基金残高は、約12億円程度**が見込める状況であります。

ふるさと納税は、平成20年の**制度開始から12年**になります。そもそもこの制度は、**地方創生の一環**として設けられた税制上の仕組みであり、地方で生まれた人は、それぞれの自治体から医療や教育等の住民サービスを受けて育ち、進学や就職を機に都会に移り納税するために、地方の自治体は税収を得ることができないという課題がありました。**生まれ育った「ふるさと」に納税する**

仕組みとして、ふるさと納税がつくられたのです。

現在、ふるさと**納税は地方創生の切り札**として、自治体の重要な取り組みとなっています。地方自治体の財政難には、国からの地方交付税で対応しているという考え方もありますが、ふるさと納税により**自治体に自助努力で稼ぐことを促した制度**の意義は大きく、地方は大変革しているのです。

志摩市においても、地域の資産を見直し、**新たな価値を付加した返礼品**を寄附していただいた皆様に提供する企画力・実行力が、ふるさと納税の**寄附金を有利に推進するために、一番大事で肝心なこと**であります。担当課の資料を基に、これまでの主な数値の推移を図表にして、ふるさと応援寄附金事業の状況をお知らせいたします。



第2期 子ども・子育て支援事業計画を策定する!!

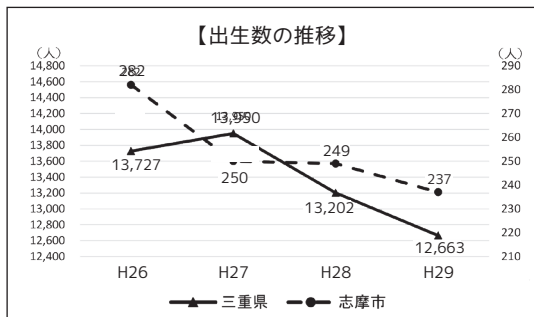
平成27年4月に開始された「子ども・子育て支援制度」のもと、志摩市においても平成27年度から5か年間の**「第1期 子ども・子育て支援事業計画」**を策定し「**地域のふれあいが子どもを元気に、親も安心できるまちづくり**」を理念とし、市民の皆様と共有しながら、子どもの育ちと子育てを支援してきたのです。

平成31年4月には教育の中核機関として「**市総合教育センター**」が開設されたほか、令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化に合わせ、**市独自の取り組み**として**幼稚園・保育所における給食費の無償化**を実現し、令和2年度からは**小・中学校**においても**給食費の一部無償化**を検討するなど、子どもの最善の利益を確保し、親も安心して子育てできる環境づくりを進めているのです。

こうした中、さらに総合的・計画的に支援事業を推し進めるために「**地域がともに支え合い、いつまでも親と子が安心できるまちづくり**」を基本理念として令和2年度～6年度まで5か年の

「第2期 子ども・子育て支援事業計画」を令和2年3月に策定することになっています。

今回12月議会の全員協議会に、計画（案）が提出されました。その資料の中から、**志摩市の将来を担う子どもたち**に関する、知って頂きたい情報を何点かピックアップして、掲載しますのでご覧ください。



【保育・教育施設の利用状況】（令和元年）

施設名	定員数 (人)	入園児数 (人)
浜島保育所	75	22
大王保育所	80	50
志摩保育所	140	60
鞠方保育所	135	103
立神保育所	70	50
志島保育所	45	26
安楽保育所	80	31
磯部保育所	60	41
ひのでが丘保育所	60	26
ひまわり保育所	120	63
私立しまの杜保育園	80	79
私立えがお志摩保育園	90	82
私立第二しまの杜保育園	120	115
合計	1,155	748

【幼稚園の利用状況】（令和元年）

施設名	定員数 (人)	入園児数 (人)
浜島幼稚園	120	22
大王幼稚園	60	47
志摩幼稚園	120	62
和興幼稚園	120	7
鞠方幼稚園	260	150
磯部幼稚園	60	42
私立しまの杜神明幼稚園	70	70
合計	810	400

